

令和7年12月分 退院患者分析表（疾病大分類別・性別）

令和8年1月1日現在

大分類	ICDコード	男					女					合計					構成比			
		一般		高齢者		後期高齢者	計	一般		高齢者		後期高齢者	計	一般		高齢者		合計		
		64歳以下	65~69	70~74	75~79	80歳以上		64歳以下	65~69	70~74	75~79	80歳以上		64歳以下	65~69	70~74	75~79	80歳以上		
01 感染症及び寄生虫症	A00-B99					0							0	0	0	0	0	0	0.00%	
02 新生物	C00-D48					1	1						0	0	0	0	0	1	3.23%	
03 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89					0	1					2	3	1	0	0	0	2	3	9.68%
04 内分泌、栄養および代謝疾患	E00-E90					1	1						0	0	0	0	0	1	1	3.23%
05 精神および行動の障害	F00-F99					0						1	1	0	0	0	0	1	1	3.23%
06 神経系の疾患	G00-G99			1		1				1		1	1	0	0	1	1	0	2	6.45%
07 眼および付属器の疾患	H00-H59					0						0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
08 耳および乳様突起の疾患	H60-H95					0						0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
09 循環器系の疾患	I00-I99			1	3	4						2	2	0	0	0	1	5	6	19.35%
10 呼吸器系の疾患	J00-J99	1	1	2	4				1	1	2	0	1	0	1	0	2	3	6	19.35%
11 消化器系の疾患	K00-K93				3	3						1	1	0	0	0	0	4	4	12.90%
12 皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99					0						0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
13 筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99				1	1			1		5	6	0	0	1	0	6	7	22.58%	
14 肾尿路生殖器系の疾患	N00-N99					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
15 妊娠、分娩および産じょく	O00-O99					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
16 周産期に発生した病態	P00-P96					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
17 先天奇形、変形および感色体異常	Q00-Q99					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
18 症状、微候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
19 損傷、中毒および他の外因の影響	S00-T98					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
20 傷病及び死亡の外因	V01-Y98					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
21 健康状態に影響をおぼす要因および保健サービスの利用	Z00-Z99					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
22 特殊目的用コード	U					0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
合計		0	1	1	2	11	15	1	0	1	2	12	16	1	1	2	4	23	31	100.00%
構成比（男女別）		0.00%	6.67%	6.67%	13.33%	73.33%	100.00%	6.25%	0.00%	6.25%	12.50%	75.00%	100.00%							
構成比（対全体）		0.00%	3.23%	3.23%	6.45%	35.48%	48.39%	3.23%	0.00%	3.23%	6.45%	38.71%	51.61%	3.23%	3.23%	6.45%	12.90%	74.19%	100.00%	

疾病分類報告（分析報告）

1 合計で多い疾病

①筋骨格系および結合組織の疾患 7件(22.58%) ②循環器系の疾患 6件(19.35%)、呼吸器系の疾患 6件 (19.35%)

2 男女別で多い疾患

男性 ①循環器系の疾患、呼吸器系の疾患

女性 ①筋骨格系および結合組織の疾患 ②血液および造血器の疾患ならびに免疫機能の障害

3 年齢別構成

男性 ①65~74歳 (13.33%) ②75歳以上 (86.67%) ③80歳以上 (73.33%) ※患者数は前月比5人増。年齢構成は、75歳以上が8割以上占め、80歳以上は7割以上であった。

疾病別では、心臓死などの循環器系の疾患と肺炎などの呼吸器系の疾患が多く、併せて全体の半数以上を占めた。

女性 ①65~74歳 (6.25%) ②75歳以上 (87.50%) ③80歳以上 (75.00%) ※患者数は前月比7人減。年齢構成は、75歳以上が8割以上占め、80歳以上は全体の3/4であった。

疾病別では、廃用症候群などの筋骨格系および結合組織の疾患が一番多く3割以上占め、次に血液および造血器の疾患ならびに免疫機能の障害が多く2割近くを占めた。

全体 ①65~74歳 (9.68%) ②75歳以上 (87.09%) ③80歳以上 (74.19%) ※患者数は前月比2人の減。年齢構成は、75歳以上が9割近くを占め、うち80歳以上は全体の約3/4であった。疾患別では、廃用症候群などの筋骨格系および結合組織の疾患が一番多く2割以上を占めた。